

世界に平和を・戦争の基地はいらない

羽村平和委員会発・横田基地ミニ情報 2014.3.25 No. 192 連絡先 FAX 042-555-1911



横田基地への飛来機 FAA チャレンジャー 在韓米陸軍C-12など

3月18日、8時半近く、FAA チャレンジャー（右写真）が離陸しました。FAAは連邦航空局の略称。在日米軍基地の航法施設点検のための飛来でしょうか。



18日11時少し前、KC-10Aが離陸し、17時過ぎ戻ってきました。白煙と、ゴムの焼ける強烈な臭いがしました。



18日11時前後に、在韓米陸軍のC-12（右写真）が3機着陸しました。背景にあるのは焼却炉の煙突で高さ44.5m。

18日午後4時ごろ、米軍横田基地に向かっていたC-5大型輸送機が、春一番の強風で基地に降りられず、上空で待機していましたが、燃料が少なくなってきたため、羽田空港に緊急着陸しました。同機は21時すぎ横田基地に到着。



少し前になりますが、7日には、OC-135B (OPEN SKIES)（右写真）が飛来しました。OC-135Bは、「オープン・スカイズ条約」に基づき米国が使用する航空機。同条約は領空開放の意で、加盟している国の領空の相互調査をします。各国の被調査回数や使用機材は規定で決まっており、「OPEN SKIES」のマーキングが義務づけられています。



3月4日から7日は、タイ空軍機A319（右写真）が飛来していました。横田基地に、何しに来たのでしょうか。

墜落した米海軍ヘリの後部回転翼 海で搜索

昨年12月、三浦市で起きた米海軍MH60Sヘリコプターの墜落事故が「クラスA」の危険な事故だったことは、以前お知らせしました。同ヘリは「テールローター（後部回転翼）が停止」とされていましたが、なんと、城ヶ島西側沖に落ちたとみられるとして、3月21日、米軍の救難艦1隻が城ヶ島沖を搜索しました。搜索期間は26日まで。



横田基地撤去の座り込み 5年間がんばった！

3月16日（日）の横田基地撤去を求める座り込みは、第60回目でした。良い天気にも恵まれ、参加者は80人を超えました。

4月20日（日）は、いよいよ6年目のスタートです。

4月の座り込みは記念の「ミニ青空講座」があります。弁護士で日本平和委員会代表理事の内藤功さんがお話する予定です。

横田基地撤去の会は、みなさんの参加を呼びかけています。

集団的自衛権行使による「戦争する国」づくりに反対！

(No. 192 の裏面)

安倍首相は国会答弁で、従来政府が憲法上認められないとしてきた「集団的自衛権行使の容認を閣議決定する」と述べました。また、国会答弁で「私が決める」と発言しました。

選挙で勝てば自由に憲法解釈を変更できるかのような、おごりに満ちた暴言、決して許してはなりません。主権者は国民です。

今日まで、自衛隊の行動は「集団的自衛権の行使は違憲」という政府解釈で、インド洋やイラクへ派兵しても、武力行使が伴わないよう制限されてきました。今、集団的自衛権の行使をすることは、アメリカが引き起こす戦争に参加させられ、外国の人を殺し、日本国民も殺される危険な道へ突き進むことを意味します。戦争する国づくり反対！



集団的自衛権 元法制局長官、憲法解釈変更反対 参院予算委公聴会

参院予算委員会は3月13日、2014年度予算案について有識者の意見を聞く公聴会を開きました。安倍晋三首相が目指す集団的自衛権行使容認のための憲法解釈変更について、阪田雅裕元内閣法制局長官は「自衛隊の発足当初から、海外での武力行使はできないと申し上げてきた」と歴代内閣の立場を説明。憲法の平和主義の特徴は集団的自衛権の行使を認めない点にあると解説し、「行使を認めれば、自衛隊は専守防衛ではなく普通の軍隊になる。」と述べ、行使を容認すれば日本が戦争に巻き込まれる可能性が高まると指摘しました。

自衛隊と連携 都立田無工業高校 2泊3日の防災訓練 狙いは？

西東京市にある都立田無工業高校が2月3～5日、「防衛省との連携」（東京都教育庁）による「2泊3日宿泊防災訓練」を、2年生全員（155人）対象に江東区夢の島のスポーツ施設で実施しました。同校は「防災教育推進校」に指定されており、昨年7月、陸上自衛隊朝霞駐屯地での宿泊訓練につづくものです。（写真：自衛隊東京地方協力本部の隊員と生徒）



取材は厳しく制限され、訓練会場への通路は“立ち入り禁止”のついで、DVDの上映会場のガラス戸は全て布で目張りされていたそうです。講話のテーマは「自衛隊の災害派遣活動などについて」、DVDは米軍とのトモダチ作戦などを盛り込んだ自衛隊のPR版でした。宿泊防災訓練を支援した自衛隊車両の使用許可書は「募集広報実務訓練」の標記だったそうです。

「戦争する国」づくり 狙われたのは田無工業高校だけではなかった

都教育庁は東日本大震災直後の2012年度から、都立高校を対象に防災教育を進めてきました。その柱は全都立高校（193校）の一つの学年を対象にした1泊2日の宿泊防災訓練を学校で実施、防災教育推進校（13年度15校）は2泊3日で宿泊防災訓練を行います。教育庁は連携先として、消防庁や警察などとともに自衛隊を盛り込み、防衛省自衛隊東京地方協力本部に支援を要請。

自衛隊と連携した1泊2日の宿泊防災訓練は、2012年度4校、2013年度6校で実施。

2012年度：八潮高校（品川）、小岩高校（江戸川）、秋留台高校（あきる野）、大田桜台高校（大田）

2013年度：八潮高校（品川）、立川高校（立川）、立川国際中等学校（立川）、葛飾総合高校（葛飾）、秋留台高校（あきる野）、桜町高校（世田谷）